

2023年2月 JICA 月次レポート

生理で学校に行けなくなる女子学生の教育環境改善事業

<活動状況>

1. 各対象校へ布ナプキン作成用スタートアップ資材の提供及び布ナプキンの作成トレーニングの実施（ムベンデ県）
2. 各対象校へ改訂したブックレットの配布
3. ラジオトークショーの実施（ムベンデ県・ブタンバラ県）
4. 女子の教育推進、布ナプキン利用者の増加を目的としたラジオスポットメッセージ（コマーシャル）の放送
5. 対象校においてモニタリングの実施
6. Happy-Pad プロモーションセンター（ワキソ県・ブタンバラ県）

1. 各対象校へ布ナプキン作成用スタートアップ資材の提供及び布ナプキン作成のトレーニングの実施

2月28日、3月2日にムベンデ県の対象校10校において布ナプキン作成のトレーニングを実施し、教員、MHM（月経時の衛生管理）クラブの部員や高学年の生徒、地域住人が参加した。

<p>布ナプキン作成のトレーニング (Kabowa Primary School 初等学校)</p>	<p>男性教員がナプキンのつなぎ合わせ方を説明 (Kabowa 初等学校)</p>	<p>型紙の作り方を説明している (CAWODISA 初等学校)</p>
<p>布ナプキン作成のトレーニング (Christ the King 初等学校)</p>	<p>布ナプキン作成のトレーニング (Katega 初等学校)</p>	<p>型紙の作り方を学ぶ参加者 (Katega 初等学校)</p>

布ナプキン作成のトレーニング (Dyangoma 初等学校)	布ナプキン作成で使用する材料を紹介 (Kasasa 初等学校)	布ナプキン作成のトレーニング (Kiyita 初等学校)
		
布ナプキン作成に必要な資材を受け 取る男性教員 (Kiyita 初等学 校)	布ナプキン作成のトレーニング (Gwanika 初等学校)	型紙作りにおいてサポートを受ける月 経時の衛生管理クラブの部員 (Dyangoma 初等学校)

2. 各対象校へ改訂したブックレットの配布

保健省からのフィードバックを受け改訂したブックレット 300 部を各県の対象校 10 校へ 10 部ずつ手渡した。生徒たちに関覧の制限をかけるなどはせず、月経時の衛生管理講義などの際にブックレットを参照するよう教員に奨励した。

ムベンデ県

		
校長へブックレットを手渡している。 (Christ the King 初等学校)	月経時の衛生管理クラブの部長へ ブックレットを手渡している。 (Kiyita 初等学校)	女性教員へブックレットを手渡してい る。(Katega 初等学校)
		
女性教員へブックレットを手渡してい る。(Gwanika 初等学校)	女性教員へブックレットを手渡して いる。(Kasasa 初等学校)	女性教員へブックレットを手渡してい る。(Dyangoma 初等学校)

ワキソ県

		
ブックレットを受け取った生徒たち	ブックレットを受け取った生徒た	女性教員へブックレットを手渡してい

(Maganjo UMEA 初等学校)	ち (Jinja Kalori 初等学校)	る。(Buwambo 初等学校)
		
ブックレットを受け取った生徒たち (Kanyange 初等学校)	ブックレットを受け取った生徒たち (Lwadda 初等学校)	ブックレットを使用する生徒たち (Kanyange 初等学校)

ブタンバラ県

		
ブックレットを受け取った生徒たち (Kiwala 初等学校)	ブックレットを受け取った生徒たち (Lwamasaka 初等学校)	ブックレットを受け取った生徒たち (Butalunga 初等学校)
		
ブックレットを受け取った月経時の衛生管理クラブ (Butende 初等学校)	ブックレットを受け取った生徒たち (Kitagobwa 初等学校)	ブックレットを受け取った月経時の衛生管理クラブ (Nkokoma 初等学校)
		
ブックレットを受け取った月経時の衛生管理クラブ (Kayenje 初等学校)	ブックレットを受け取った生徒たち (Bule 初等学校)	ブックレットを受け取った教員と生徒 (Ntolomwe 初等学校)

3. ラジオトークショーの実施 (ムベンデ県・ブタンバラ県)

2月17日にムベンデ県チバリンガ準郡のラジオ局「Luna Fm」で1時間のラジオトークショーを実施し、生理用品を購入できない女子生徒が快適に学校に通えるようサポートするように地域の住民に呼びかけた。主な話題は、対象

校において実施している布ナプキン作成のトレーニングや教員や生徒が布ナプキンに関する知識を深めることを目的に配布したブックレットについてであった。地域においても月経の課題に取り組むきっかけとなることに期待している。



ラジオトークショーを実施する SORAK 代表（右）とプロジェクトオフィサー（左）

ブタンバラ県では、2月26日、27日にラジオ局「Voice of Butende」よりトークショーを実施した。ブタンバラ県のプロジェクトチームリーダーは学校再開後も月経時の衛生管理の活動を継続していくことを説明し、家庭と学校の両方において正しい情報を子どもたちに提供することの必要性を住民に呼びかけた。また、前学期に男子生徒の活動への参加を推進した教員及び保護者を高く評価し、今後も継続していくことを働きかけるとともに、女子生徒においては月経時の衛生管理や生殖に関する問題に直面した際に、周囲の教員や保護者に打ち明けるように奨励した。

また、ンガンド準郡の Happy-pad プロモーションセンター設立に伴いトレーニングへの参加、登録が可能であることを地域住民に呼びかけた。



ラジオトークショー後のブタンバラ県プロジェクトチーム

4. 女子の教育推進、布ナプキン利用者の増加を目的としたラジオスポットメッセージ（コマーシャル）の放送

月経時の衛生管理、女子生徒の教育、生理用布ナプキンに関するラジオスポットメッセージを以下の通り放送した。

- ムベンデ県：Luna FM（1日6回）
- ワキソ県：Voice Kiryagonja（1日10回）
- ブタンバラ県：Voice of Butende（31回）、Voice of Kikambwe（21回）

5. 対象校においてモニタリングを実施

学校施設の状態の確認、月経時の衛生管理クラブや布ナプキン作成のトレーニング、また啓発活動の状況の把握を目的にモニタリングを実施した。施設の状態などの評価は指標を用いて行い、事務所や、洗面所、更衣室など様々な施設の現状や、啓発活動や布ナプキン作成のトレーニングの状況、また月経時の衛生管理クラブ、男性教員、女性教員からの報告を元に状況を把握し評価を行った。詳細はモニタリングレポートに記載している。

- **ワキソ県** 2月21日～2月28日にプロジェクトオフィサーが実施した。
- **ムベンデ県** 2月28日～3月2日にプロジェクトマネージャーとプロジェクトオフィサーが実施した。
- **ブタンバラ県** 2月26日、2月27日にプロジェクトチームが実施した。

ワキソ県

		
<p>プロジェクトオフィサーが月経時の衛生管理クラブの部員と会話をしている。 (Kitungwa 初等学校)</p>	<p>プロジェクトオフィサーと新たに着任した校長 (Kirolo UMEA 初等学校)</p>	<p>プロジェクトオフィサーと新しい女性教員 (Lwadda C/U 初等学校)</p>
		
<p>床が均等にならされていない洗面所 (Kitungwa C/U 初等学校)</p>	<p>女子生徒が使用した後の洗面所 (Ssanga C/U 初等学校)</p>	<p>壁には大きな亀裂があり屋根が備えられていない状態の洗面所 (Lwadda C/U 初等学校)</p>
		
<p>手洗い施設 (Ssanga C/U 初等学校)</p>	<p>Tippy tap (手洗い) を使用している子どもたち (Kirolo UMEA 初等学校)</p>	<p>水に並ぶ生徒 (Maganjo UMEA 初等学校)</p>



休憩時間後に校庭を掃除する生徒たち (Kitungwa C/U 初等学校)



手洗い施設 (Jinja Karoli 初等学校)



水が通っていない状態の洗面所 (Jinja Karoli 初等学校)

ブタンバラ県



屋根、鍵付きのドア、備品を設置した洗面所 (Lwamasaka 初等学校)



屋根はないがドアを取り付けた洗面所 (Nkokoma 初等学校)



ドアと水のタンクを取り付けた洗面所 (Kiwala 初等学校)



洗面所 (Nawango 初等学校)



鍵付きのドアを取り付け、排水横に水を設置した洗面所 (Butalunga 初等学校)



洗面所 (Kayenje 初等学校)

<p>鍵付きのドア、水、バケツを備え付けた洗面所（Butende 初等学校）</p>	<p>備品を設置した洗面所（Ntolomwe 初等学校）</p>	
<p>鍵付きのドアを設置し、衛生状況も大幅に改善した洗面所（Kitagobwa 初等学校）</p>	<p>ドアを備え付けた洗面所（Ntolomwe 初等学校）</p>	
<p>鍵付きのドアや備品を設置した衛生的な洗面所（Bule Umea 初等学校）</p>	<p>ナプキンを設置した洗面所内部（Nawango 初等学校）</p>	
<p>月経時の衛生管理クラブとの交流（Kiwala 初等学校）</p>	<p>月経時の衛生管理クラブとの交流（Butalunga 初等学校）</p>	<p>教員とのモニタリングインタビュー（Lwamasaka 初等学校）</p>
<p>月経時の衛生管理クラブとの交流（Butende 初等学校）</p>	<p>職員が設置した水タンク（Ntolomwe 初等学校）</p>	<p>モニタリングの実施（Butalunga 初等学校）</p>

		
<p>水タンク (Nkokoma 初等学校)</p>	<p>月経時の衛生管理クラブの部員がモニタリングのアンケートに回答している様子 (Kayenje 初等学校)</p>	

ムベンデ県

		
<p>モニタリング中に月経時の衛生管理クラブと交流するプロジェクトオフィサー (Kabowa 初等学校)</p>	<p>ドアノブの設置を残し修繕が完了した洗面所とトイレ (Christ the King 初等学校)</p>	<p>屋根はないが、セメントを塗り、水と石鹼を備え付けた洗面所 (Kabowa 初等学校)</p>
		
<p>セメントを塗り、ドアやドアノブ、水を取り付けた洗面所 (CAWODISA 初等学校)</p>	<p>プロジェクトオフィサーが校長、女性教員、男性教員と交流している。 (Gwanika 初等学校)</p>	<p>セメントを塗り、屋根と鍵付きのドアを付けたトイレと洗面所施設 (Gwanika 初等学校)</p>
		
<p>月経時の衛生管理クラブの部員、女性教員、男性教員と交流するプロジェクトマネージャー (Kabowa 初等学校)</p>	<p>屋根を取り付け、たらいや清潔な水、石鹼を設置した洗面所 (Kasasa 初等学校)</p>	<p>清潔な水を貯めるタンク施設 (Dyangoma 初等学校)</p>

		
入口にドアはないが屋根を取り付けたトイレ (Katega 初等学校)	月経時の衛生管理クラブの部員と女性教員たちが交流している (Christ the king 初等学校)	まだ建設途中のトイレ (Kiyita 初等学校)

6. Happy-Pad プロモーションセンター (ワキソ県・ブタンバラ県)

■ ワキソ県

GBN より紹介を受けた Sempala 氏、Wagaba Emmanuel 氏のプロモーションセンター訪問

訪問目的: ナプキン作成を学び、ナプキンの販売方法の模索

2月7日に Sempala 氏、Emmanuel 氏の Happy-pad プロモーションセンター訪問を受け、布ナプキンの作成トレーニングを実施した。どちらの方もミシンの使用方法を知っていたため、型紙の作り方や使い方、各材料の使用用途や並べる順番、ボタンの付け方を学ぶところまでのトレーニングとした。また、ナプキンの内部の構造や材料の重なった順番を見られるように完成していたナプキンの一つを開き説明をした。

	
プロジェクトオフィサーがナプキンの型紙の作り方を説明している	型紙が完成した様子

■ ブタンバラ県

2月は女性7名、男性2名が布ナプキンの作成トレーニングに登録し受講している。この受講生たちはセンターのオープニングと同時に登録をした受講生であることから受講料は徴収していない。また、布ナプキンの商品としての生産に向けた準備を進めており、3月の3週目には最初の生産を予定しているが、製品の規格書の作成については、まだ改訂を重ねている段階であり合意に至っていない。プロモーションセンターでは常勤で活動を管理するIT担当者として Christine Atala 氏を雇用した。今後は彼女がセンターの宣伝やトレーニング受講生の登録、ナプキン生産の管理などにおいて責任者となる。



受講生たちが布ナプキン作成トレーニングを受けている様子



<事業による効果的な影響およびもたらした変化>

- 参加者（生徒、教員、保護者）が布ナプキンの作成方法を学ぶことについて意欲的であった。（ムベンデ県）
- Christ the King 初等学校の生徒をはじめ男子生徒が積極的に活動に参加しており、ナプキン作りにおいても熱心であった。（ムベンデ県）
- Kabowa 初等学校などミシンの基本的な操作を知っている生徒がいたため、トレーニングが円滑に進んだ（ムベンデ県）
- トレーニングやモニタリングの後、参加者は GBN 及び SORAK の支援及びイニシアチブに感謝した。（ムベンデ県、ワキソ県）
- 布ナプキン作成トレーニングの中でナプキンの質感を伝えるためにサンプルを生徒に配布し、全ての学校において良い反応があった。（ムベンデ県）
- Kabowa 初等学校など布ナプキン作成に使用できる材料をすでに保有している学校もあり、緊急用のナプキンを作るのに役立てることができた。（ムベンデ県）
- Katega 初等学校では長期休暇中にミシンの使い方を学んだという教員があり、生徒のトレーニングを担当することができるようになった。（ムベンデ県）
- Gwanika 初等学校ではナプキン作成トレーニング開始前である長期休暇中においても、制服の作製にミシンを活用し、雇用しているテーラーの月給を賄った。（ムベンデ県）
- ラジオのリスナーは、月経時の衛生管理における有益な情報提供に加え、学校でのナプキン作成トレーニングやブックレットの配布など、SORAK の活動に感謝を示した。（ムベンデ県）

<課題>

- トレーニングに必要な道具の数に対し受講する生徒の数が多かったこと。（ムベンデ県・ワキソ県）
- 学費が足りないことや、学校の要件を満たしていないことから新学期になっても学校へ帰ってこなかった生徒もいたが、在学している同級生でナプキン作成などの活動を行っていく。（ムベンデ県）

- 10校のうち Kabowa 初等学校の生徒一人のみがミシンの使い方を知っていたが、その他の生徒は今後じっくりとトレーニングを受ける必要がある。(ムベンデ県)
- Kasasa 初等学校のように校長や男性教員が異動となったり、Kiyita 初等学校のように女性教員が異動となった学校もあった。これらの異動は最近のことであるが、月経時の衛生管理の課題において徐々に責任を引き受けていっている(ムベンデ県)
- 新学期が始まり最初の2週間は生徒たちの出席率が低く、モニタリング活動に遅れが生じたこと。
- プロジェクトマネージャーが休暇を取った際に、チーム内でコミュニケーションがうまく取れなかったこと。(ブタンバラ県)
- 月経時の衛生管理クラブの部員のなかで初等部卒業試験を受け、別の学校に進学した生徒もいたため、新たに部員を立てる必要があった。

<教訓>

- 男子生徒や男性の参加は今後も継続して働きかけるべきである。
- Happy-Pad プロモーションセンターにおいてトレーニング受講者を獲得するには地域での宣伝活動はもちろんのこと、最初の3か月間のトレーニングを無料にすべきである。(ブタンバラ県)
- 対象校において月経時の衛生管理への取り組みが継続的に実践されていること、また衛生状況が大幅に改善したことがモニタリングを通して判明した。
- 月経時の衛生管理クラブは7年生よりも下の生徒達で構成すべきであること、また学校を進学・休学する生徒に関して引継ぎの計画を立てる必要があることが分かった。
- 学校でのナプキン生産を促進するには今後も継続してフォローアップする必要があることが分かった。(ブタンバラ県・ワキソ県・ムベンデ県)

<提案>

- 販売用の布ナプキンを標準化するべきである。ナプキンの形状は統一し、様々な体型の人に合わせ異なるサイズの製品を展開していく。また、必要なサイズが一目で見て分かるようにサイズのなどの詳細をパッケージに記載すべきである。(ワキソ県)
- Happy-Pad プロモーションセンターを維持していくためには、布ナプキン作成のみならず、ミシンなどのスキルを得た人に対してもサービスを提供していくべきである。本事業の期間中は学校での月経時の衛生管理の課題の解消に向けたナプキン作成トレーニングに焦点をあてているが、センターでのナプキン販売の売り上げだけでは運営が厳しく更なる資金がなければ運営を維持できない状況にある。(ワキソ県)
- SORAK チームは、販売する布ナプキンの販売価格を設定するにあたって、参考となる布ナプキンの実際の価格帯を探っている。現在市場では2枚セットのものが(小)7,200 シリング、(大)8,400 シリングで販売されている。(ワキソ県)
- 布ナプキンの更なる広告・広報が必要であり、今後 SNS、ソーシャルメディアでの発信も活用していくべきである。(ワキソ県)